

# 秋田県衛生科学研究所報

第 30 輯

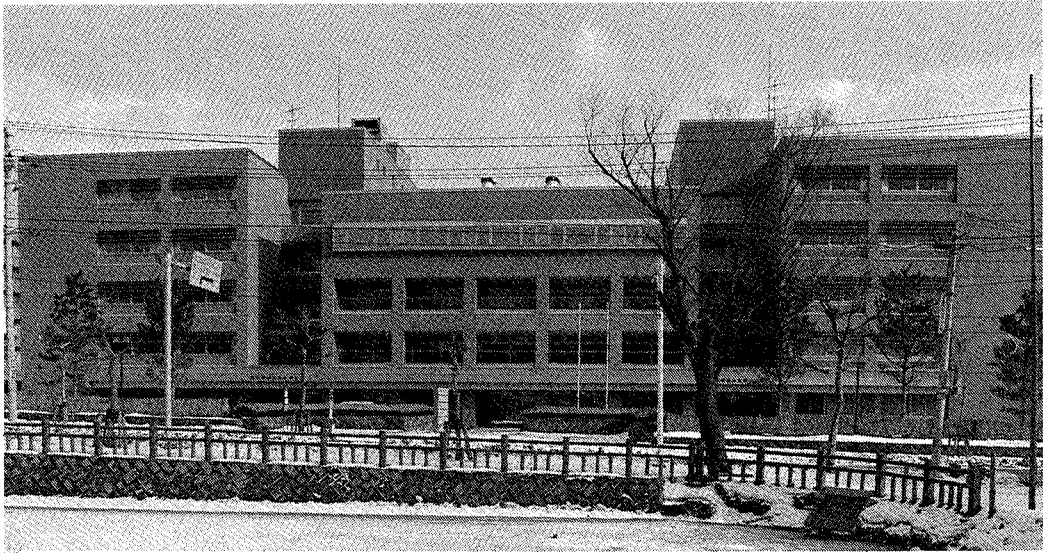
昭和 60 年度

---

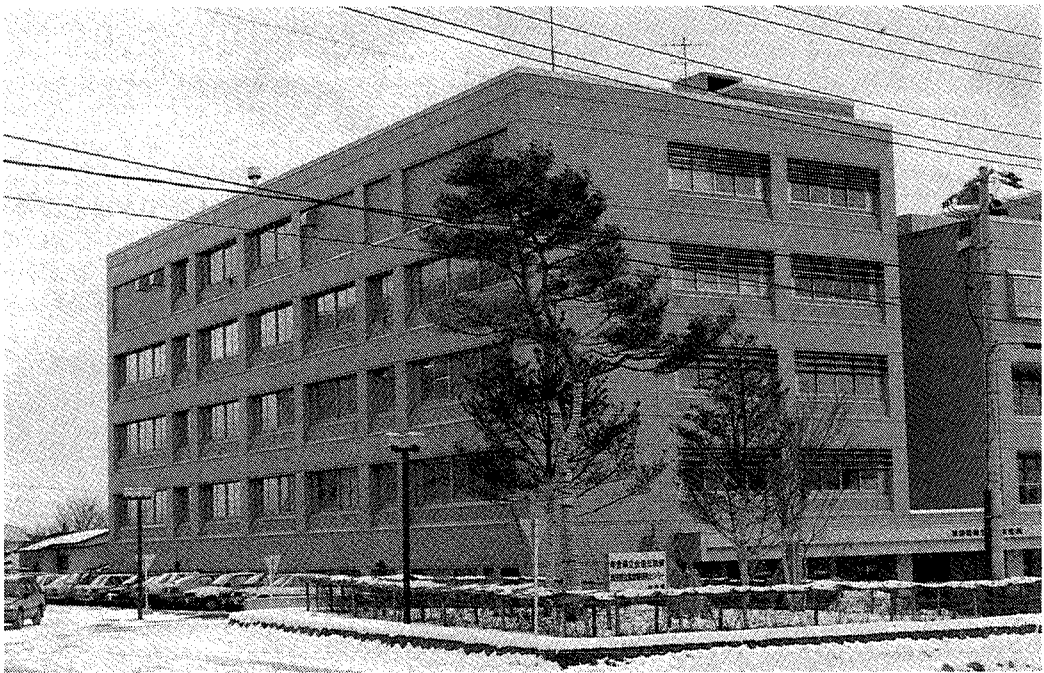
ANNUAL REPORT  
OF  
THE AKITA PREFECTURAL INSTITUTE OF PUBLIC HEALTH  
No. 30  
1986

---

秋田県衛生科学研究所



保健センターと衛生科学研究所（左側ブロック）



衛生科学研究所



## 所報第30号発刊のあいさつ

秋田県福祉保健部長 星野 徳 美

衛生科学研究所の所報が発行されて以来本年で早くも30年を迎えることになりました。

近年、県民の健康水準は医学技術の進歩や生活水準の向上、さらに保健衛生思想の普及などにより大きく改善され、年々向上してきております。

しかし、平均寿命の飛躍的な伸びによる急速な高齢化社会の進展による人口構造の変化や、科学・技術の進歩による生活環境の複雑化、さらにエイズ等新たな疾病の発生など、公衆衛生分野における諸問題が提起されております。

今後ますます多様化する県民のニーズに対応するため、新たな発展を期して施設規模を拡大し、最新の設備と高度な機能を持つ研究所として新築され、昭和61年9月1日にその使命を果たすべく業務を開始いたしました。

県内衛生行政の科学的・技術的中核をなす施設として、昭和28年に衛生研究所が設置されて以来、公衆衛生に寄与すべく着実にその役割を果たしてきたのでありますが、これまでの業績を基礎に今後ともその機能をあますところなく発揮し、県民医療並びに福祉の向上に大きな役割を果たし得るものと確信しております。

最後に、この意義のある年を契機に、本研究所が益々発展されますことを祈念して、あいさついたします。



## 所報第30号の発刊を迎えて

秋田県福祉保健部 堀川 進  
医務薬事課長

このたび衛生科学研究所が新築されるという意義あるときに、所報第30号が発行される運びとなりました。

今日、人生80年時代を迎え、総合発展計画後期実施計画の中で「健康の増進と医療の確保」を県政の重要な目標に掲げ、「健康管理体制の確立」「専門医療施設の整備」等の諸施策を積極的に進めているなかで、試験研究機関の果たす役割は従来にも増して重要視されています。

最近の類を見ない科学技術や生産技術の進歩、さらに人口構造や疾病構造の変化等、我々を取りまく社会状況の変化に適格に対応していくために、質の高い保健衛生業務の推進が強く要請されてきております。

このため、県民の保健衛生の向上に資するため、科学的・技術的な調査研究と試験検査の推進を図っていくことが必要であり、さらに大きな使命を担って完成した新研究所は、その充実した陣容と最新の設備により、これまで以上県民の多様な要請に応えるため、諸問題の解決に必要な基礎的研究の充実を図っていくこととしております。

どうか関係各位におかれましては、本研究所の趣旨を十分御理解頂き、今後とも一層のお力添えをお願いし、所報第30号発行のあいさつといたします。

## 所報第30号発刊と新庁舎完成を記念して

長年の懸案でありました衛生科学研究所の新築は、昭和61年7月に無事竣工し、近代的な研究所として業務を推進することができるようになりました。これは、ひとえに県首脳部の御努力と関係各位の御支援の賜と深く感謝申し上げます。

私達衛生科学研究所職員は、この施設を十二分に活用し、秋田県における衛生行政の科学的、技術的中核として、公衆衛生の向上に寄与すべく、最大の努力をする所存です。

近年における、保健・医療の急速な変貌や社会環境の変化、さらに、高齢化社会の到来は、県民の健康にたいする関心を高め、保健・医療に対する需要の多様化、高度化が要求されるようになりました。

このような背景の中で、衛生科学研究所の在り方も総合的な地域保健、医療サービス計画の中に位置づけて見直されなければなりません。同時に全国レベルでの諸々の疾病サーベイランス、汚染物質のモニタリングシステムの中で、研究所がどのような役割を分担すべきかについて再検討する必要があります。以上の状況を踏まえながら、私達は秋田県の皆様の幸福と発展につながる研究と試験検査を模索し、それを推進しようと努力しております。

本年は研究所の移転のため、昭和60年度の事業の概況と調査研究結果のまとめが遅れましたが、所報第30号を刊行することができました。どうぞ、御高見をお聞かせいただければ幸いと存じます。この所報は、保健衛生及び環境衛生行政の分野において当所職員が実施した試験検査、調査研究、技術指導の成果であります。これらの研究成果や日常検査業務は、県民の保健衛生の向上につながる課題であります。今後とも、県民の多様な要請に応える衛生関係の試験研究機関として、職員一同努力いたす所存です。どうぞ、関係各位の御指導と御支援を賜りますよう御願い申し上げます。

昭和61年12月

秋田県衛生科学研究所長

児 島 三 郎